

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-283722 (P2003-283722A)
 【公開日】平成 15 年 10 月 3 日 (2003.10.3)
 【出願番号】特願 2002-88205 (P2002-88205)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/00

H 0 4 N 1/32

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 6 日 (2004.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一の受信者に対して、データの配布方法が異なる複数の送信モードをあらかじめ登録し得る送信モード登録手段と、

同一の受信者における前記複数の送信モードに対して、優先的に使用するための優先順位をあらかじめ登録し得る優先順位登録手段と、

送信しようとするデータの受信者を指定する指定手段と、

前記指定手段により指定された受信者に対して登録されている前記複数の送信モードの中から前記優先順位に応じて送信モードを設定する送信モード設定手段と、

前記送信モード設定手段により設定された送信モードにしたがってデータを送信する送信手段と、

を有することを特徴とするデータ送信装置。

【請求項 2】

前記送信モード設定手段は、一の送信モードにしたがったデータの送信が正常に終了しなかった場合、次の優先順位の送信モードを設定することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ送信装置。

【請求項 3】

前記送信モードまたは前記優先順位に関する情報を当該装置の外部に存在するデータベースから取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段により取得された情報に基づいて、前記送信モードまたは優先順位を前記送信モード登録手段または前記優先順位登録手段に書き込む書込手段と、

をさらに有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のデータ送信装置。

【請求項 4】

前記優先順位に関する情報は、受信者に対して送信されたデータを受信した機器の受信頻度であることを特徴とする請求項 3 に記載のデータ送信装置。

【請求項 5】

前記データは画像データであり、

原稿を読み取って画像データを取得する画像読取部をさらに有することを特徴とする請

求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載のデータ送信装置。

【請求項 6】

前記複数の送信モードの各々は、データの通信プロトコルまたはデータの受信機器が異なることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載のデータ送信装置。

【請求項 7】

前記複数の送信モードは、FAX、インターネット FAX、電子メール、およびリモートプリントのいずれか 2 以上を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 4、6 のいずれか 1 つに記載のデータ送信装置。

【請求項 8】

データ送信装置の動作を示すデータ送信方法であって、

送信しようとするデータの受信者を指定する段階と、

指定された受信者に対してあらかじめ登録されデータの配布方法が異なる複数の送信モードの中から、当該複数の送信モードに対してあらかじめ登録されている優先的に使用するための優先順位に応じて、送信モードを設定する段階と、

設定された送信モードにしたがってデータを送信する段階と、

を有することを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 9】

送信しようとするデータの受信者を指定する手順と、

指定された受信者に対してあらかじめ登録されデータの配布方法が異なる複数の送信モードの中から、当該複数の送信モードに対してあらかじめ登録されている優先的に使用するための優先順位に応じて、送信モードを設定する手順と、

設定された送信モードにしたがってデータを送信する手順と、

をコンピュータに実行させるためのデータ送信プログラム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のデータ送信プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。